

## ◆本校職員が中国の特別支援学校等を視察◆

去る1月4日（土）～6日（月）の3日間、本校職員の雷坂浩之副校長、河場哲史小学部主事、飯島杏那教諭の3名が中国の特別支援学校等を視察した。

まず4日（土）に、中国寧波市の達敏学校を訪問した。同校は本校と姉妹校提携を結んでいる学校である。ここ数年の日中間の政治的緊張状態の影響で滞っていた交流関係を再度整えることを大きな目的としての訪問であった。同校の劉校長と互いの学校についての情報交換と今後の交流の進め方について話し合いを行った。同校から本校へ具体的に期待することとして「保護者支援や早期介入モデルについての情報提供」や「同校が行っている自閉症児への個別指導の指導助言」といった要望が挙げられた。



寧波市達敏学校の校門



校舎の外観



劉校長と雷坂副校長

5日（日）は、中国蘇州市にある蘇州工業園區仁愛学校を訪問した。同校は、近年の行政区学校再編に伴い、蘇州工業園區初の特別支援学校として2012年9月に設立された新設校である。訪問日が日曜日であったために子どもの活動の様子を見ることはできなかったが、学校設備や教室の様子を見学することができた。見学後、同校の范校長から学校概要についてスライドを交えて説明を受けた。同校の要望としては、互いに友好校としてやっていきたいということであった。



自閉症クラスの教室



雷坂副校長と范校長



記念撮影

6日（月）は、上海市の華東師範大学特殊教育学院と自閉症研究センターを訪問した。先方は桑学院長、楊副学院長、楊教授の3名が対応してくださった。互いの国の情報交換と今後の連携について話し合いを行った。その後、楊教授から自閉症研究センターについてお話を伺った。



情報交換の様子



雷坂副校長と桑学院長



記念撮影